

6/20 予稿

核禁条約締約国会議 あす開幕

米同盟国から参加次々

わせて合計4カ国が参加表明しました。唯一の戦争被爆国でありながら参加見送りを表明した岸田政権の姿勢がますます問われます。国際NNGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の癡紀ローディネーターを務めるティム・ライト氏は「被爆者が強く求めているにもかかわらず日本が不参加を表明したのは残念だ」と本紙に語りました。

ベルギーのオブザーバー参加は、ペトラン・デ・サタード副首相が18日、ソイツタード明らかにしました。オランダの参加についてはオランダ議会は15日、CANが18日に発表しました。オランダ議会は15日、オブザーバー参加を求める決議を採択していました。

【ウィーン＝島田峰隆】
21日からのオーストリアの首都ウィーンで開かれる核兵器禁止条約第1回締約国会議に、北大西洋条約機構（NATO）加盟国のベルギーとオランダ、米国と軍事同盟関係にあるオーストラリアがオブザーバー参加することが明らかになりました。

↓関連①面
これまでよりNATO諸国はドイツ、ノルウェーとあ

は、国連当局が18日に発表した会議参加者の暫定リストに明記されています。CANオーストリアは「われわれの国が締約国になる第一歩だ」と歓迎しました。同国では今年5月の総選挙で野党・労働党が保守連合政権に勝利して政権交代しました。労働党は2018年以來、核兵器禁止条約に署名・批准する立場を明確化していました。